



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月23日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
コード番号 5204 URL <https://www.ishizuka.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 石塚 久継
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 財務部長（氏名） 山下 登（TEL） 0587-37-2111
半期報告書提出予定日 2025年10月31日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月21日～2025年9月20日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	30,769	6.8	2,909	16.1	2,633	△4.8	1,792	△7.8
2025年3月期中間期	28,823	△3.5	2,505	△21.7	2,768	△14.6	1,944	△21.0

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,111百万円（ 24.8％） 2025年3月期中間期 1,692百万円（ △50.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	427.80	—
2025年3月期中間期	466.29	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	102,288	37,228	34.9	8,491.21
2025年3月期	100,417	35,332	33.8	8,104.29

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 35,716百万円 2025年3月期 33,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	65.00	65.00
2026年3月期	—	—			
2026年3月期（予想）			—	65.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年3月21日～2026年3月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	7.2	4,000	3.9	3,650	△1.7	2,450	△20.7	584.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
当社取引先のシステム障害に伴う業績への影響は考慮しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	4,219,554株	2025年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	13,279株	2025年3月期	34,992株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	4,190,903株	2025年3月期中間期	4,170,888株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料につきましては、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響が一部の産業を中心にみられるものの、企業業績は堅調に推移する見込みです。一方、物価上昇に対して実質賃金が伴っていないことの個人消費への影響や国内外の政治情勢の不安定さなど、依然として先行きは不透明な状況が見込まれます。

当社グループは、「モノづくり」を通じて体質を強化し、多少の荒波が生じてでも難なく乗り越えられる経営基盤を確立するため、長期的な視点で会社の方向を示す「ISHIZUKA GROUP 2030」を2022年4月に公表しました。これまでの事業環境の変化を踏まえ、2025年4月に見直しを行い、それに基づく2027年度を最終年度とする3か年の中期経営計画「新たな領域への挑戦」を策定しております。この中期経営計画では、①2027年度までに連結営業利益5,000百万円の達成、②中堅・若手人財の躍動と視座高き人財の充実、③2027年度CO2排出量 Scope 1+Scope 2 30%削減(2020年度対比)、④ペーパーレス化の推進・アナログ作業からの脱却(ラクの追求)を重点ポイントとしております。

業績につきましては、売上高はプラスチック容器関連事業の新工場の出荷が寄与していること及びその他事業のパウチ飲料充填事業が新たに加わり、30,769百万円(前年同期比6.8%増)となりました。利益につきましては増収効果に加えて、企業活動におけるコスト上昇に対するコスト低減施策と販売価格の見直しなどにより、営業利益2,909百万円(前年同期比16.1%増)となりました。一方、為替差損が発生したこともあり、経常利益2,633百万円(前年同期比4.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,792百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、諸資材価格及び物流費用等の上昇に対する販売価格改定の取り組みを進めましたが、物価高による買い控えなどの影響により出荷量は減少し、売上高は5,442百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、企業向けの景品受注が減少したことにより、全体としては前年同期比微減となりました。陶磁器は、海外からの受注が堅調に推移しましたが、国内ホテル向けの受注が減少し、セグメント全体の売上高は6,581百万円(前年同期比5.6%減)となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、国内外原紙の調達コスト、諸資材及び物流費の上昇に対する販売価格改定の取り組みとともに新規販路の獲得もあり、売上高は4,734百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

<プラスチック容器関連事業>

PETボトル用プリフォームは、前期から新たに稼働を開始した新工場からの出荷が寄与したことにより、売上高は9,128百万円(前年同期比14.8%増)となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、販売製品の品種構成の変化により、売上高は1,186百万円(前年同期比9.6%減)となりました。

<その他事業>

抗菌剤は原材料価格の上昇に対する販売価格是正を進めたことにより、売上高は増加しました。また、パウチ飲料充填事業の売上高が新たに加わり、セグメント全体の売上高は3,695百万円(前年同期比43.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,870百万円増加し、102,288百万円となりました。また、負債合計は25百万円減少し、65,060百万円となりました。資産の主な要因は、受取手形及び売掛金並びに電子記録債権の増加、流動資産その他(未収金)が減少したことによるものです。負債の主な要因は、支払手形及び買掛金並びに有利子負債の増加、流動負債その他(未払金)が減少したことによるものです。

純資産合計は利益剰余金(親会社株主に帰属する中間純利益)の増加により1,896百万円増加し、37,228百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は34.9%(前連結会計年度末は33.8%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ728百万円減少し、4,143百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、5,315百万円(前年同期は6,155百万円の資金増加)となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前中間純利益、減価償却費及び仕入債務の増加によるものです。一方、資金減少の主な要因は、売上債権の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、3,619百万円(前年同期は5,872百万円の資金減少)となりました。資金減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、2,341百万円(前年同期は200百万円の資金増加)となりました。これは主に、短期借入金の増加、セール・アンド・割賦バックによる収入及び長期借入れによる収入によるものです。一方、資金減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出、社債の償還による支出及び長期未払金の返済による支出によるものです。

また、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年4月24日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年10月23日)公表いたしました「特別損失の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当中間連結会計期間 (2025年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,905	4,177
受取手形及び売掛金	16,616	20,547
電子記録債権	3,703	3,983
商品及び製品	9,808	10,272
仕掛品	812	683
原材料及び貯蔵品	4,456	4,108
有償受給に係る資産	4,194	3,692
その他	3,514	1,585
貸倒引当金	△3	△14
流動資産合計	48,008	49,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,064	11,841
機械装置及び運搬具(純額)	10,768	11,215
土地	15,595	15,496
その他(純額)	6,066	6,226
有形固定資産合計	44,495	44,780
無形固定資産	82	115
投資その他の資産		
投資有価証券	6,463	7,080
その他	1,296	1,224
貸倒引当金	△15	△18
投資その他の資産合計	7,745	8,286
固定資産合計	52,323	53,182
繰延資産	85	70
資産合計	100,417	102,288

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当中間連結会計期間 (2025年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,523	13,902
短期借入金	4,394	4,812
1年内償還予定の社債	1,802	127
未払法人税等	610	639
賞与引当金	739	801
その他	8,481	7,246
流動負債合計	27,551	27,530
固定負債		
社債	6,298	6,234
長期借入金	14,132	13,786
役員退職慰労引当金	11	-
汚染負荷量引当金	363	354
退職給付に係る負債	4,691	4,671
その他	12,035	12,482
固定負債合計	37,533	37,529
負債合計	65,085	65,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,687	4,689
利益剰余金	14,119	15,707
自己株式	△88	△33
株主資本合計	25,063	26,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,846	3,254
繰延ヘッジ損益	1	1
土地再評価差額金	5,393	5,174
為替換算調整勘定	△117	△118
退職給付に係る調整累計額	725	696
その他の包括利益累計額合計	8,849	9,009
非支配株主持分	1,419	1,511
純資産合計	35,332	37,228
負債純資産合計	100,417	102,288

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)
売上高	28,823	30,769
売上原価	20,816	22,205
売上総利益	8,007	8,564
販売費及び一般管理費	5,501	5,654
営業利益	2,505	2,909
営業外収益		
受取利息	13	4
受取配当金	102	131
為替差益	209	-
受取賃貸料	157	163
工場閉鎖関連損失戻入益	116	-
その他	56	83
営業外収益合計	655	383
営業外費用		
支払利息	189	210
為替差損	-	183
賃貸収入原価	117	112
その他	85	152
営業外費用合計	392	659
経常利益	2,768	2,633
特別損失		
固定資産除却損	-	47
特別損失合計	-	47
税金等調整前中間純利益	2,768	2,585
法人税、住民税及び事業税	502	543
法人税等調整額	262	157
法人税等合計	764	700
中間純利益	2,003	1,884
非支配株主に帰属する中間純利益	58	92
親会社株主に帰属する中間純利益	1,944	1,792

中間連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)
中間純利益	2,003	1,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△251	407
繰延ヘッジ損益	△27	1
為替換算調整勘定	△11	△0
土地再評価差額金	-	△152
退職給付に係る調整額	△20	△28
その他の包括利益合計	△311	226
中間包括利益	1,692	2,111
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,645	2,019
非支配株主に係る中間包括利益	47	92

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,768	2,585
減価償却費	1,753	2,432
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	23	63
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	△11
汚染負荷量引当金の増減額(△は減少)	△9	△9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	89	△7
株式報酬費用	-	8
受取利息及び受取配当金	△116	△135
支払利息	189	210
為替差損益(△は益)	△253	184
売上債権の増減額(△は増加)	△616	△4,268
棚卸資産の増減額(△は増加)	△268	△33
未収入金の増減額(△は増加)	344	1,217
前渡金の増減額(△は増加)	41	△24
仕入債務の増減額(△は減少)	2,268	2,387
未払費用の増減額(△は減少)	86	231
その他	477	1,041
小計	6,778	5,887
利息及び配当金の受取額	115	137
利息の支払額	△180	△213
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△557	△495
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,155	5,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,824	△3,437
有形固定資産の売却による収入	-	105
投資有価証券の取得による支出	△42	△6
投資有価証券の売却による収入	12	35
貸付けによる支出	△1	△4
貸付金の回収による収入	3	8
解体撤去費用の支出	△28	△278
その他	8	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,872	△3,619

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	30	1,686
長期借入れによる収入	1,130	700
長期借入金の返済による支出	△838	△2,312
社債の償還による支出	△238	△1,738
セール・アンド・割賦バックによる収入	1,151	906
リース債務の返済による支出	△516	△405
長期未払金の返済による支出	△240	△903
配当金の支払額	△250	△271
非支配株主への配当金の支払額	△25	-
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	200	△2,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	△82
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	583	△728
現金及び現金同等物の期首残高	3,778	4,871
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9	-
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,371	4,143

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス び ん 関 連	ハウス ウェア 関 連	紙容器 関 連	プラス チック 容 器 関 連	産 業 器 材 関 連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	5,555	6,974	4,443	7,954	1,312	26,241	2,582	28,823	—	28,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	112	—	112	2,513	2,626	△2,626	—
計	5,555	6,974	4,443	8,067	1,312	26,354	5,095	31,449	△2,626	28,823
セグメント利益	369	303	211	1,174	205	2,264	228	2,492	12	2,505

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額12百万円には、棚卸資産の調整額14百万円、その他△1百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年3月21日 至 2025年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス び ん 関 連	ハウス ウェア 関 連	紙容器 関 連	プラス チック 容 器 関 連	産 業 器 材 関 連	計				
売上高										
外部顧客への売上高	5,442	6,581	4,734	9,128	1,186	27,073	3,695	30,769	—	30,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	104	—	104	2,510	2,614	△2,614	—
計	5,442	6,581	4,734	9,232	1,186	27,177	6,206	33,384	△2,614	30,769
セグメント利益	470	381	293	1,255	143	2,543	366	2,909	△0	2,909

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△0百万円には、棚卸資産の調整額0百万円、その他△1百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。